



平成 21 年 11 月 9 日

〈プレス・リリース〉

各 位

会 社 名 トナミホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 綿貫 勝介
 (コード番号 9070 東証・大証 第1部)
 お問合せ先 経営企画室長 三枝 保弘
 (TEL 0766 - 32 - 1850)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向をふまえ、平成 21 年 5 月 15 日に発表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1)平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ①	百万円 58,650	百万円 680	百万円 900	百万円 530	円 銭 5 83
今回修正予想 ②	55,160	170	610	△109	△ 1 20
増減額 (②-①)	△3,490	△510	△290	△639	-
増減率 (%)	△5.9	△75.0	△32.2	-	-
前期(平成 21 年 3 月期)実績	65,290	557	807	142	1 57

(2)平成 22 年 3 月期 通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ①	百万円 118,900	百万円 1,450	百万円 1,900	百万円 1,150	円 銭 12 66
今回修正予想 ②	112,100	690	1,480	40	0 44
増減額 (②-①)	△6,800	△760	△420	△1,110	-
増減率 (%)	△5.7	△52.4	△28.4	△96.5	-
前期(平成 21 年 3 月期)実績	126,930	669	1,057	244	2 69

2. 修正理由

(1)第 2 四半期累計期間の業績予想

当第 2 四半期累計期間における当社グループを取巻く環境は、主力の特別積合せ運送事業の輸送需要の減少、輸出入貨物の取扱の減少など景気後退等の影響が予想以上となり、営業収益が前回の発表の予想数値を下回る見込みになりました。利益面におきましても固定費の削減等につとめましたが、営業収益の悪化を吸収することが厳しく、営業利益、経常利益、四半期純利益についても前回の予想を下回る見通しであります。

(2)通期の業績予想

今後の物流需要の減少傾向は、一部に生産や輸出の持ち直しによる回復が見られるものの、第 3 四半期以降も継続することが見込まれます。

今回の第 2 四半期累計期間の業績予想の修正および、今後の景気動向も勘案した結果、営業収益、営業利益、経常利益、四半期純利益共に前回の予想数値を下回る見込みであります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値とは異なる場合があります。

以上